

FOMC では想定内の利上決定もタカ派スタンスが示された 横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

米国の下落を背景に反落

昨日の日経平均は、米国市場の下落を背景に、前日比▼375円(▼1.3%)の2万7313円で終えた。業種別騰落率では、海運(前日比+1.5%)、保険(同+0.6%)、石油(同+0.2%)が上昇率の上位、一方で、輸送用機器(同▼2.2%)、ガラス(同▼2.2%)、空運(同▼1.9%)が安い。個別銘柄では、配当取り狙いの思惑から、日本郵船(前日比+1.3%)、商船三井(同+1.5%)、川崎汽船(同+2.1%)が買われ、揃って5営業日ぶりの上昇となり、子会社の不適切行為の影響から、通期予想を引き下げた日本製鋼所が悪材料の出尽くし感から前日比+4.1%と高い。一方で、WSCOPEが連日でストップ安となり、ダイキン(前日比▼3.9%)、東京電力ホールディングス(同▼3.7%)などが売られた。米フォードが半導体不足による生産調整の影響と原材料価格の上昇から、22年7-9月期の決算は厳しくなる見通しを示し、トヨタ(同▼2.3%)、日産自動車(同▼3.0%)、マツダ(同▼2.9%)など自動車株が売られた。

FOMC では 0.75%の利上げを決定

現地21日の米国市場ではNYダウは前日比▼522ドル(▼1.7%)の3万183ドル、ナスダックも同▼204ポイント(▼1.7%)の1万1220ポイントで終えた。注目のFOMCでは、0.75%の利上げが決定、0.75%の利上げについては市場予想の範囲内であったが、パウエル議長がインフレを2%に引き下げるまで利上げを継続する姿勢を示し、FOMCメンバーから示された今年末の政策レートの中央値は4.4%となっており、年内に更に1.25%の利上げが必要となる計算から、更なる利上げへの懸念から株は引けにかけて大きく売られた。個別銘柄では、S&P業種別で全セクターが下落するなど、全面安となるなか、ゲーム向けGPUの新製品を発表したエヌビディアが前日比+0.6%と買われ、ウォルマート(前日比+0.9%)も高い。一方で、更なる積極的な利上げ懸念から、アマゾン(前日比▼2.9%)、メタ(同▼2.7%)など大手IT銘柄が売られ、SOX指数は前日比▼0.9%であった。WTI原油先物は、前日比▼1.1%の82.94ドル、米10年債利回りは同▼0.03%の3.53%で終わっている。

今日の予定

今朝のシカゴ日経平均先物は、大証比▼110円の2万7010円で終えた。今朝のドル円は1ドル144.10円台(6時45分現在)で推移している。今日の主な予定は、国内では日銀黒田総裁の会見、海外では、フェデックス、コストコの決算発表が予定されている。

東京市場マーケットデータ

2022/9/21 現在

日経平均	2万7313円
プライム売買代金	2兆4719億円
プライム時価総額	690兆9236億円
日経平均予想PER	12.9倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

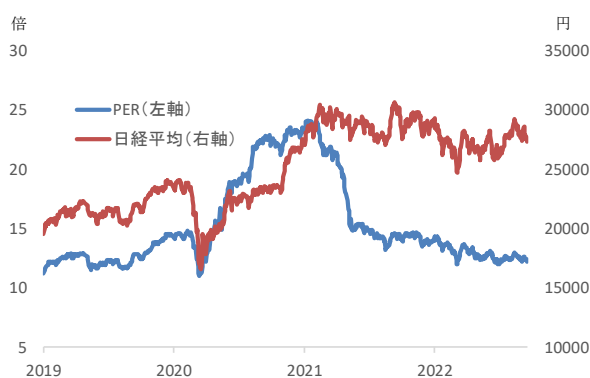
国内株式売買代金ランキング

2022/9/21 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	▼2.1%
2 トヨタ	▼2.3%
3 ソフトバンクグループ	▼1.1%
4 日本郵船	1.3%
5 三菱 UFJFG	▼0.2%
6 東京エレクトロン	▼1.5%
7 任天堂	▼1.1%
8 商船三井	1.5%
9 ファーストリテイリング	0.1%
10 ソニーグループ	▼1.7%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa